

令和8年2月定例会

福祉環境委員会

部長説明要旨

令和8年2月24日（火）

第2委員会室

福祉保健部

福祉保健部長の吉野でございます。

委員の皆様方には、福祉保健医療行政の推進にあたりまして、日頃から格別の御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

それでは、今議会に提出しております令和7年度補正予算について御説明いたします。

まず、福祉保健部関係の一般会計につきましては、
第3款「民生費」で 14億7,930万6千円の増額を
第4款「衛生費」で 61万2千円の増額を
第10款「教育費」で 4億2,002万9千円の減額を
それぞれお願いしており、
福祉保健部全体としましては、10億5,988万9千円の
増額補正となります。

以下、補正内容について、御説明いたします。

まず、喫緊の課題である物価高騰対策として、物価高騰の影響を受ける社会福祉施設や医療機関等を対象に、光熱費等の支援として、合わせて17億1,243万円、介護事業所等がサービスを円滑に継続するための設備・備品購入等の支援として、6億8,774万4千円の増額をお願いしております。

続きまして、各款別の主な補正内容について御説明いたします。

第3款「民生費」、第1項「社会福祉費」、
第1目「社会福祉総務費」では、10億8,765万3千円の
増額をお願いしております。

主な内容としましては、障害者福祉サービスに要する経費が見込みを上回ったため、障害者自立支援給付費の県負担分を増額するものです。

次に、第4款「衛生費」、第1項「公衆衛生費」、第3目「予防費」では、1億5,690万4千円の増額をお願いしております。

主な内容としましては、指定難病に係る医療費助成に要する経費が見込みを上回ったことにより増額するものです。

次に、第10款「教育費」、第8項「大学費」、第1目「医科大学費」では、4億2,002万9千円の減額をお願いしております。

主な内容としましては、施設等整備に係る貸付金の額が当初の見込みを下回ったことなどにより県立医科大学への貸付金等を減額するものです。

続きまして、特別会計について御説明いたします。

国民健康保険特別会計につきましては、医療費の増加に伴い、保険給付費の増額をお願いするものです。

次に、県立こころの医療センター事業会計につきましては、入院収益など医業収益の減額、電気使用量の減少など光熱水費の減少等による医業費用の減額をお願いするものです。

続きまして、繰越明許費明細書について、御説明いたします。

福祉保健部関係としましては、追加、変更を合わせまして、
民生費で 63億7,650万8千円、
衛生費で 15億 85万8千円、
合計78億7,736万6千円をお願いしております。

主な内容としましては、社会福祉施設や医療機関等への物価高騰対策支援に当たり、事業者等からの補助金の申請期間を考慮すると、年度内の事業完了が困難なものや、老人福祉施設の整備に係る、設計の変更や建設資材の入手に不測の日数を要し、年度内に工事を完了することが困難なことなどから繰越をお願いするものです。

以上で、私からの説明は終わらせていただきます。
御審議の程、何卒よろしく願いいたします。